Mr. Bassman（ベースマン列伝） Vol.57

ジャズにおいてベース弾きとは、縁の下の力持ち、水先案内人といったやや日陰の存在。おまけに、ウッドベースなら持ち運びも大変…。だが、黙々とベースをウォーキングさせ、バンドをスイングさせることに魂を注ぐベースマンが、一度化けの皮を剥ぐともの凄い名演･名盤が生まれるのだ。このコーナーでは、そんなジャズ・ベースマンの偉業を称えるとともに、ジャズ・ベースの素晴らしさを伝えていきたい。

George Mraz【ジョージ・ムラーツ】

Photo : George Mraz "Jazz" (Milestone Records)

Profile

1944 年 9 月 9 日、チェコ共和国ボヘミア地方南部ピーセク生まれ。本名は Jiri Mraz。7 歳でヴァイオリンを始め、高校時代にアルト・サックスを始める。61 年プラハ音楽院に進学し、クラシックとベースを学ぶ。在学中からチェコスロバキア・オールスター・バンドで活躍。卒業後、ドイツ・ミュンヘンに移り、マル・ウォルドロン、ハンプトン・ホーズ等と共演。68 年バークリー音楽院の奨学生として渡米。クラーク・テリー、ハービー・ハンコック、ジョー・ウィリアムズ等と共演。69 年にはディジー・ガレスピーのバンドに参加。その後、オスカー・ピーターソン・トリオに約 2 年、サド・ジョーンズ＝メル・ルイス・オーケストラに 6 年在籍。70 年代にはスタン・ゲッツ、ズート・シムス、ビル・エヴァンス達と共演。78 年からはトミー・フラナガンのレギュラーベーシストとして 10 年以上活躍。92 年からフリーとして活躍。60 歳の誕生日にはヴァーツラフ・クラウス大統領主催でプラハ城にて記念コンサートが開催され、2009 年にはゴールド・プラック栄誉賞を受賞する等、母国チェコでは英雄的存在。親日家でもあり 70 年代以降、来日回数は 50 回を超える。2011 年事故で大怪我を負い、2016 年には膵臓の手術を受ける。今年 9 月で 75 歳を迎えるが、世界中のファンがステージ復帰を期待している。

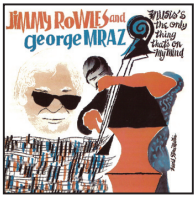
優れた技巧とセンスも一級品！チェコ共和国が誇る名ベースマン

ジョージという名前は、母国チェコでの本名 Jiri の発音が George に近いため通称名として変更した経緯がある。名門プラハ音楽院でクラシック音楽を学んだこともあり、音感の良さやアルコ（弓弾き）の技術はジャズ･ベーシストの中でも一目置かれているジョージ･ムラーツ。

チェコでは 60 歳の誕生日に大統領主催による記念コンサートが開催され、2009 年にはゴールド･プラック栄誉賞（チェコの国民栄誉賞）を受賞するなど正に英雄的存在。2011 年に事故で大怪我を負い、治療費を賄うため愛器のベース1台を売りに出したそうだ。その後、見事カムバックを果たしたが、2016 年には膵臓の手術を受け、その際は妻カミラさんが手術費やリハビリの費用を賄うため募金を呼び掛けていたそうだ。チェコの人々は勿論、世界中のファンが第一線へのカムバックを願っている。またあの素晴らしい名演を聴かせて欲しい！

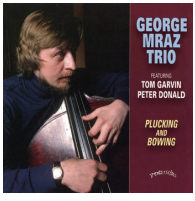
GM's Great Albums

自身のリーダー・アルバムの他、トミー・フラナガン、オスカー・ピーターソン、ドン・フリードマン等、名ピアニストたちのアルバムで聴ける名演も体感してみて欲しい。



ミュージック・イズ・ジ・オンリー・シング・ザッツ・オン・マイ・マインド
ジミー・ロウルズ&ジョージ・ムラーツ
（ウルトラ・ヴァイヴ：CDSOL-6710）

共にズート・シムズ・カルテットのメンバーだったジミー・ロウルズ (p) とジョージ・ムラーツのデュオ・アルバム。1976 年録音。全 9 曲収録。



プラッキング＆ボウイング
ジョージ・ムラーツ
（ウルトラ・ヴァイヴ：CDSOL-6748）

ジョージ・ムラーツがトム・ガーヴィン (p)、ピーター・ドナルド (ds) を率いて、トリオ名義で 1978 年にレコーディングしたアルバム。全 9 曲収録。

ア・ハンドフル・オブ・スターズ
アダム・アコーヴィッツ
（ウルトラ・ヴァイヴ：CDSOL-45406）

ポーランド出身のピアニスト、アダム・アコーヴィッツの 1981 年録音作品。ジョージ・ムラーツとジャック・ディジョネット (ds) が参加。全 11 曲収録。

ジャイアント・ステップス
トミー・フラナガン
（日本コロムビア：COCB-53813）

トミー・フラナガン (p) がジョージ・ムラーツとアル・フォスター (ds) とのトリオで 1982 年にレコーディングしたジョン･コルトレーン作品集。全 6 曲収録。